

会員さん

「こんにちは」

水のいのち

弘誓寺 那須 和範

金堂を歩いておりますと、ご老人が川べりを散策する姿、母親が幼児と共に鯉に餌を与えている姿を良く見かけます。本当に微笑ましく、ほのぼのとした光景です。

沿道には商家の白漆喰の土塀や土蔵が続き、そこに心地よい水音を響かせ、鯉の泳ぐ川がゆったりと流れています。金堂に住み慣れると、このような光景はどこにでもあるように思ってしまうですが、

今日、金堂のようにまちなみと水辺が一体となっている処は、全国でも稀になってきています。

この貴重なまちなみを生かすも殺すも川次第です。



水辺の持つ存在意義は、大変重要です。

水のいのち

町の人が川べりで畑から取り立ての野菜を洗い、子どもが夢中になって魚つかみをする。そのような生活のにおいがする生きた川を残すことが大切です。

昔、中国の曇鸞大師という高僧が、浄土論註という書物に「水功德」という教えを説かれています。

水は物質的に人間の生活を支えると共に、人間の心を育てる働きがあると教えてくだ

さっています。

私たちは、子どもの頃から水辺で遊び、水辺と共に生活し、自然に心が育てられてきました。

水辺を眺めていると心が癒され、深く心が落ち着いてきます。

昔の人々もこの川を眺めながら、色んな生活の事柄に思いを巡らされたのではないのでしょうか。

4年目のおつきあい

堂下 真苗

私が金堂を知り、3年が経ちました。初めて金堂に来たのは仕事でした。

「金堂を知っていましたか？」と聞かれましたが、私は蒲生町（当時）に住んでいて、二十km離れた旧神崎郡にはほとんど来たことがなく、五個荘といえど国道を走ると目に入る「AS24」のイメージしかありませんでした。

自転車で金堂を走ってみて驚きました。

「映画のセット？」

と思うくらい古い町並みがある、建替えている家も多く、金堂に比べると全然大したことはない！

金堂のこの迫力は何！しかも調和のとれた風景なのに、細かい部分は家ごとに違う！

そんな感想を持ったことを今でもはつきり覚えています。



また、金堂のみなさんとおつきあいするようになり、人柄も魅力ということが分かりました。とてもまじめ、そして時間厳守。でも気さく。お世話になったことも数知れず、なんだか親戚が一気に増えたような気分です。

この金堂のよさを広く知ってもらうため、町並みの美しさを残すため、住んでいる方が暮らしやすくなるように、保存会の活動をお手伝いしていこうと思っています。

これからもどうぞよろしくお願いします。

鯉の品評会

町内の寺前・鯉通り沿いを流れる天保川には、近江商人が故郷に錦を飾る想いで錦鯉を放流し、四季を問わず、訪れる多くの観光客、また町民の憩いの場となっていました。ところが鯉ヘルペスの流行で天保川の鯉が全滅し、観光客の方々ならびに町民の皆様から復元を求める声が上がっております。



皆様のご協力により鯉基金を得て、ようやく復元が始まった時、（社）全日本愛鱗会滋賀県支部様より「例年湖西で開催している品評会を、今年は湖東で開催したい」という要望を伺いました。

当保存会にとっても大変ありがたいお話であったため、金堂町における開催を提案し、開催のために必要な諸条件を確認しつつ検討を重ね、準備を進めてまいりました。

そして四月二十七日、生き活き館前広場において、（社）全日本愛鱗会滋賀県支部第二十一回若鯉品評会が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、会場は町民の皆様、観光客、愛鱗会の会員の皆様並びにその御家族と、多くの人々で賑わい、盛況のうちに品評会は終了いたしました。

保存会といたしましても、金堂に因んで、錦鯉の黄金種



に「NPO法人まちなみ保存会理事長賞」と副賞を提供いたしました。

また、（社）全日本愛鱗会滋賀県支部振興会の白光苑様より、五百尾の稚魚を頂き、保存会メンバーの手により無償配布を行いました。

加えて、愛鱗会会員の方より錦鯉約五百尾をご寄贈頂き、寺前・鯉通り沿いの天保川に放流することが出来ました。今回の品評会の開催により、寺前・鯉通りにおける鯉が泳ぐ景観の復元が大きく進展し

たと感じております。

今後も、（社）全日本愛鱗会滋賀県支部の方々のご協力を賜り、金堂町で毎年開催していく所存です。町民の皆様、ならびに会員の皆様、今後こそ支援・ご協力宜しくお願いいたします。

（事業部長 西村 勉

金堂まち探検Ⅲの一案内

金堂まちなみ保存交流館活用運営委員会では、本年も子ども会の皆さんと共に「金堂まち探検Ⅲ」を八月二十三日に行います。

一昨年はまちの宝物探しを実施し「お宝マップ」を作成、昨年は外村繁邸、旧中江富十郎家を舞台とし、「お宝かるた」を作成しました。いずれも素晴らしい作品が出来あがり、今後交流館にて展示してまいります。



（委員長 西村 正義

今年のテーマは、子ども達と関係の深い「お地藏さま」です。町内の五つの地藏堂を舞台として探検が繰り広げられます。

町内の各地蔵尊の由来、お盆に地藏盆が行われる理由、等々、現在金堂まちなみ保存会で勉強会を開催し、猛勉強中です。

我々が得た知識を、次世代を担う子ども達に、しっかりと伝えて行きたいと思えます。町民の皆様、ご協力宜しくお願いいたします。